

とにかく待たせない！

# 事前の準備&多職種協働で高い実施率を実現



長崎県佐世保市

## 社会医療法人財団 白十字会 佐世保中央病院 予防医療センター

健診受診者数：2,614人  
特定保健指導対象者数：384人  
初回面談実施人数：333人  
初回面談実施率 **86.7%**

※令和5年度に実施した協会けんぽの生活習慣病予防健診・事業者健診に基づく健診機関における実績値

## お話を伺った方

健康支援課 課長・保健師 田口 久美子さん（左）  
主任・保健師 深井 絵美さん（右）

point

### 01 事業主に特定保健指導をアウンス

特定保健指導の制度開始当初、どうしたら対象者に特定保健指導を受けていただけるかが課題となりました。そして、「事業主の方々のご理解・ご協力なしにはうまくいかない」という考えに至り、**事業主様宛にご案内を送付**することにしました。健診予約のご案内で、「協会けんぽから健診と特定保健指導までをセットとして受ける前提で予約を承っています」という旨をお伝えしています。

point

### 02 事前の「抽出」で対象者を待たせない！

保健師が、健診受診者の情報・過去の健診結果を前日までに見直して、腹囲や体重などが保健指導判定値を超える方をピックアップ。**特定保健指導に該当しそうな方については、臨床検査技術部に依頼して、当日、血液検査の結果を迅速に出してもらえるようにしています。**

あわせて、問診（看護師による面接）の際、「特定保健指導の対象になった場合は、生活習慣改善のサポートをさせていただく」とご案内しています。前もってお伝えしておくと、割とすんなり受け入れられるようです。

待ち時間ができてしまったときには▶  
追加問診。生活習慣や今後頑張れ  
そういうことを記入してもらいます。



待ち時間を  
短く感じさせるのが  
ポイントです！

健診後のフォローまで  
しっかりと行うとお伝えし、「この施設にお願いすれば安心」と信頼を得ることで、健診のリピーターになってもらえるというメリットも。



#### 健診当日の初回面談までの流れ

- 健診予約** ● 事業主宛にご案内を送付
- 健診前準備** ● 健診受診者の情報・過去の健診結果から保健指導に該当しそうな方を抽出しておく
- 健診当日** ● 抽出した方の血液検査の結果を優先的に出してもらう  
● 問診（看護師による面接）で特定保健指導の案内をする



特定保健指導推進の  
きっかけ・背景



国の制度として始まった2008年度から特定保健指導を実施しています。当院は地域に根差した医療機関として予防医療にも力を入れており、センター長が「健診後の保健指導までをセットとして考える」という方針を示すなど、母体組織の理解があったことが特定保健指導推進の大きな要因だと考えています。

point

### 03 「多職種協働」で、初回面談と保健師の業務をスムーズに

当院の理念・強みとして、**さまざまな専門職が連携する「多職種協働」**を掲げていますが、これが特定保健指導にも生きていると思います。特定保健指導は保健師の力だけではできず、他の職種の協力が不可欠。そうした「チーム力」も特定保健指導を円滑に行えているポイントだと感じています。

## 看護師

階層化等の知識を身につけ、  
問診時に保健指導を案内

## 臨床検査技術部

血液検査等に迅速に  
対応

## 診療各科

「要医療」の方の精密検査・  
診療

## システム開発室

実施報告等の報告システム  
構築を支援

「要医療」の方を早く  
診療へつなげられる、検査  
結果を迅速に出せるのは、  
当センターの強みです。

特定保健指導の  
実施率向上に伴い、  
他の職種の協力をより  
得やすくなったり  
思います。



point

### 04 継続支援では協会けんぽの中間検査（ステップアップ検査）も活用

積極的支援の方には電話支援を中心に行っています。また、脱落を防ぐには、次回の面接日を決めるのも重要です。なお、被保険者の方については、**協会けんぽの「中間検査（ステップアップ検査）」も活用**しています。

#### 協会けんぽの 中間検査（ステップアップ検査）

被保険者に対する特定保健指導における血液検査等検査業務

特定保健指導を利用中で、3か月以上生活習慣の改善を続けている方を対象に無料で右記の検査を実施。

- 身長、体重、BMI、腹囲、血圧
- 血液検査：血糖、脂質、肝機能
- 尿検査：尿糖、尿蛋白

面接だけの場合より、  
検査で効果を実感できるとモチベーションにつながる！

特定保健指導の制度開始当初3名だった保健師は、  
実施率の上昇とともに増員しました。



#### // 健診機関担当者からひとこと //

✓ 報告システムの整備がネックになって特定保健指導の実施に至っていない場合は、特定保健指導の業務支援ソフトの活用を検討してみては？今は選択肢も増えていて、フリーソフトもありますよ。

✓ 今後の課題は、特定保健指導の内容を充実させていくことです。2024年度からの第4期特定保健指導ではアウトカム評価が導入され、より特定保健指導の効果が問われるようになりました。これからは、実施率向上だけでなく、特定保健指導の成果を出せるように頑張りたいです。

#### 佐世保中央病院 予防医療センター（旧：佐世保中央病院 健康増進センター）

長崎県佐世保市大和町15番地  
<https://hakujyujikai.or.jp/chuo/health/>

設立：1996年4月

事業内容：健康診断（生活習慣病予防健診・特定健診・法定健診）、人間ドック（1日ドック・2日ドック・レディースドック・肺ドック）、専門ドック（脳ドック）、がん検診（胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん・大腸がん・前立腺がん等）、保健指導・健康支援

